

☆力作ぞろいです

玉陵祭週間の展示発表が行われ、各教室の廊下等、様々なところに生徒の作品が飾られています。以前紹介した「お弁当づくり」のほかにも、1年生は「絵文字」、2年生は「図形の構成」が貼られています。

私は美術が大の苦手です（体育も苦手でした）、たまに下書きの段階でうまくいくことがあっても、色を塗った途端に絶望的な気持ちになる、といった具合でした。ですから、絵の上手な人、創作が得意な人がうらやましいのですが、今、掲示されている作品は、どれも皆さんが一生懸命に描いた様子が分かる力作ぞろいです。勉強も運動も、人それぞれに得意なものや苦手なものがあると思いますが、大切なことは、一生懸命に取り組むことだと思っています。

先日、写生大会がありました。その時も、皆さんが真剣な表情でスケッチブックに向かっている姿が印象的でした。これから校内に作品が飾られると思いますが、それも楽しみの一つです。

ところで、私は絵を描くことが苦手でしたが、見ることは大好きです。時間ができると、大きな美術館だけでなく、有名ではない小さな美術館にも絵を見に行きます。南中もちょっとした美術館です。美術部の作品や生徒の作品が常に飾られていて、とても楽しいです。皆さんも、何気なく通り過ぎている廊下だと思いますが、たまには足を止めて作品を鑑賞してみてもいかがですか。



☆群馬県新人大会結果② 10月28日(土)

10月28日(土)に県新人大会が行われましたので紹介いたします。〈敬称略〉

【団体】

バレー女子 第7位

〈本戦〉

1回戦 vs 寺尾中 2-0

2回戦 vs 八幡中 2-0

準々決勝 vs 塚沢中 0-2 惜敗

〈8シード決定戦〉

1回戦 vs 清流中 1-2 惜敗

2回戦 vs 甘楽中 2-0



☆まじめに走るとということ

11月11日(土)は、群馬県中学校駅伝大会です。夏休みから始まった駅伝練習でしたが、いよいよ県大会を迎えることになりました。県大会に出場するのは女子チームですが、男子の有志と一緒に走って女子を引っ張ってくれています。

毎朝走り終わると、それぞれが「お疲れ!」と言いながら、仲間同士でタッチをして、健闘を讃(ただ)え合っています。苦しいはずの「走るとということ」が、何かすがすがしい、格好の良いことに思えてきます。

皆さんも今、持久走大会に向けて、体育の授業で一生懸命に走っていますね。「苦しさ」を何とか乗り越えながら、練習に励んでいるところだと思います。

「走ること」は苦しいことです。私は運動も苦手で、中でも「走ること」は特に苦手でした。運動会ではいつも最後を走っていました。しかし、マラソン大会は気持ちの入り方が少しだけ違っていました。長距離は努力すれば少しだけ前の方の順位に食い込めたからです。

自分なりにがんばれると自信がつかます。トップを走る速い人のように目立たなくても、「今日はがんばったな」「去年より速い順位だったな」「自分の力が出せたな」という気持ちで終われると気持ちが良いものです。

「まだ前に行けた」「もっとがんばれた」「この順位では納得がいかない」というふうに、たとえ満足がいなくても、一生懸命にやった結果であれば、その悔しさは次の挑戦のバネになります。

しかし、ふざけたり、力を抜いたりして、「本当はもっと速いけど、本気を出さなかつただけさ」というふうに自分をごまかせば、感動も喜びも悔しさもありません。まわりの人が気付かなかつたとしても、手を抜いたことは自分が一番分かっています。

努力した結果が良ければ、うれしいことですが、大切なことは、良い結果が出ることではありません。少しでも良い結果を出そうと努力することです。

もうすぐ持久走大会ですね。全員が自分の力を一生懸命に出せる大会になることを期待しています。



☆正しい姿勢で(保健新聞)

保健委員さんが定期的につけてくれている「保健新聞」を毎回楽しみにしています。日常生活で大切な、しかし意外に気付かないことや知らないことを教えてください。

今回は正しい姿勢の大切さについて、分かりやすく解説してくれています。私もパソコンに向かって仕事をしているときに、姿勢が悪くなっていることに気づきます。この「学校だより」もパソコンで作りますが、夢中になっていると気付かないうちに姿勢が崩れ、あとで首や腰がとても痛くなります。

生徒の皆さんは若いので、すぐにあちこちが痛くなるということはないかもしれませんが、悪い姿勢には思わぬ危険がひそんでいるようです。ぜひ、保健室横の「保健新聞」を見に来てください。

